

KAS

風の谷 びゅう VIEW

社会福祉法人 風の谷
相模原市中央区田名7236-3
発行責任者 政野 光廣
042-760-1033
<http://www.kanagawa-id.org/yamabiko/>
e-mail: ykoubou@pastel.ocn.ne.jp



今年も多くの作品を作っています！！

【2015年 秋号】

◇巻頭文	P 2	◇自閉症支援センターより	P 3
◇特集 第2やまびこ工房紹介	P 4・5	◇ヘルパー便り・グループホーム便り	P 6
◇決算報告	P 7	◇後援会のページ	P 8

発行人 神奈川県自閉症児・者親の会連合会 代表者 内田照雄 〒243-0035 厚木市愛甲2-11-6-109
毎月15日発行 購読料1部 15円

「おやじの会」のご紹介

評議員 鈴木 秀美

相模原やまびこ会は自閉症や発達障がいの子どもの持つ親たちの会です。

やまびこ会では、一般市民の方々に自閉症を理解していただくための講演会、研修会等の啓発活動、子ども達の健全な発達を促進するとともにボランティア養成も目指すサマーキャンプ、各種の勉強会、会員相互の親睦を深める研修旅行等々幅広い活動を展開しています。

その活動の一つに「おやじの会」があります。参加資格は会の名称からもお分かりのとおり、自閉症に関わりを持つ男性であれば、どなたでも参加できます。実際、参加者はやまびこ会の会員である父親（地域別では相模原のみならず横浜、川崎、大和、厚木、藤沢等かなり広い地域から参加しています）、やまびこ工房や他の福祉施設の職員さん、行政職員、学校の先生、大学の先生等バラエティーに富んでいます。会場は交通の便が良い町田市の居酒屋で2～3ヶ月に1回程度の頻度で開催しています。

参加者は、それぞれの近況やその時々興味ある話題を酒の肴にして、アルコールの効能により、素直に、気さくに、リラックスした雰囲気でも弾みます。ただおやじの会には「一言タイム」なるルールがあり、参加者全員が自分なり、子どもの近況を自閉症との関わりの中で報告するのです。施設の職員さんは自閉症者の療育の動向や、療育に従事する者としての心構えや熱意を披瀝されることもあり、頼もしい気持ちになります。行政の職員さんからは、障がい当事者、保護者と行政職員の相互理解、連携が重要であるとの示唆を受けました。学齢期の子どもを持つ父親からは、学校生活や育児に関する質問が出されることがあります。それに対し、成人期の子どもを持つ父親から、自分たちの経験に裏打ちされた適切なヒントが与えられたりします。また施設職員や学校の先生からは日々自閉症の子ども達に接している経験・知識を活かしたアドバイスをいただけます。これらの貴重なヒント、アドバイスに元気付けられて帰って行く父親がいれば、おやじの会の参加者として、うれしく思います。

自閉症に関わりのある男性が酒を呑みながら、楽しく率直に語り合う場がおやじの会です。新規の参加者も大歓迎です。ご興味のある方はどうぞ参加してみてください。



第8回 相模原市自閉症児・者 作品展

<日時>
 11月20日(金) 13:00~19:00
 21日(土) 10:00~19:00
 22日(日) 10:00~18:00

<会場>
 おださがプラザ
 ラクアルオダサガ4F

<問い合わせ>
 相模原市やまびこ会 080-8870-2733



相模原自閉症支援センターより

長く続いた猛暑日の終わり（8月22日）と深い雲が連なり始めた日（8月23日）に自閉症カンファレンスNIPPON2015が東京都新宿区にある早稲田大学で開催された。

毎年8月に開催されている大会であり、日本における自閉症者支援の中で最も広く普及しているTEACCHプログラムの核心に触れる機会である。というのは、TEACCHを日本に紹介された佐々木正美先生をはじめ、第一線で指導されている先生方が集うのと、アメリカ ノースカロライナ州はその発祥の地であり、その第一人者も来日され、講演されるからである。今年はゲーリー・メジボフ教授（ノースカロライナ大学）とその後継者とされるローラ・クリンガー先生（TEACCH自閉症プログラム ディレクター）が講演された。会場を埋め尽くすほどの聴講者であった。

ローラ・クリンガー先生は統計を基にアメリカにおける自閉症者の現状を説明された。日本でも高齢者支援の議論は潮流ではあるが、自閉症者とそうでない人との認知症が発症する年齢の違いに関する研究などにも触れられ、ダウン症の方は発症が早いという統計はあるが、自閉症の方についてはまだ統計が取れていないというような話もされ、一生涯の各年代に応じ、様々な視点からのデータ収集がなされていることがわかった。さらに多岐に渡ってプログラムの全体像も講義された。

ゲーリー・メジボフ先生は自閉症者を含めた社会との関わる姿勢について話されていたのだと思う。KEYMAKERS（キーメーカー）の話は印象的であった。扉を前にして開かない時、どうしますか？ある人はその場で立ち去ってしまうかもしれない。ある人は、扉を叩くかもしれない。ある人は鍵を探すかもしれない。そしてある人は鍵を作るかもしれない。できないと言って諦めるのではなく、鍵を作る人になることが最善である旨を説かれていた。

佐々木正美先生のお話も同様の印象を受け、そのお人柄が脳裏に残っている。明日に役立つ情報ではなく、小手先の技術ではなくて、普段の自分の振る舞いを思い浮かべながら伺った。

今回は有難くも事例を報告する機会を頂き、やまびこ工房に通所されている女性利用者の支援経過を発表した。報告にあたりご家族や実際に関わった支援者の協力を仰いだ。ある女性支援者からは「なんにもしてないくせに発表はするんですね」と言われてしまったが・・・。

皿を投げる、トイレにモノを詰まらせたり、水で遊んでしまう、お茶や調味料等をぶちまけてしまうなどの行動問題がある一方で、自閉症らしい独特の言語や感情表現、音楽やDVDなど好きなことも多く、愛らしい面も多い方である。発表するにあたり、家族と支援者とで記した記録を読み返したり、支援を家族と振り返ったりした。家族と支援者の対応や支援方法が連動しながら変わっていき、本人も徐々に落ち着いていくのを読み取ることもでき、これまでの支援の意義を検証することができ、感慨深いものであった。

観察と記録を土台に支援者が主導になることも家族が主導になることもなく、一緒に取り組んだことに意義がある。“親は協働の療育者である”というTEACCHの理念・哲学に添ったものだからである。

普段努力していても傷心なことはある。「なんにもしてないくせに・・・」と言われてしまうくらいだから自分はTEACCHプログラムを理解しているとは言えないだろうけど、今回参加させて頂いて感じたのは、自閉症が理解されていなかった時代からキーメーカーを担い続けている先生方が大切にされているのは、自閉症者の周りにいる人たちの人間教育にあるのだと思った。（薬師丸）

作業室D

作業室F

作業室A



作業室はどの部屋も窓張りになっているところが多い為、日中はとても明るい部屋となっています。

利用者が作成した季節感のあるペーパークラフトを作業室に飾ったりし、皆さんに季節感を味わって頂けるようにしています。

受注のお仕事をして頂いている作業室では、就労に向けた準備段階も兼ねています。今後、新たな受注作業を頂くなど、さらなる展開を予定しています。



第二やまびこ工房の日常



休憩室にはバラエティ豊かな余暇活動を取り揃えています。利用者同士や職員と囲碁・将棋・オセロを楽しんだりしています。写真は一部のもので、他にも小説や漫画などがあり、一人で余暇を楽しみたい人にもオススメです。この休憩室に惹かれる人も…？

2F 廊下のソファではいつも取り合いの戦いがくりひろげられています(笑)勝つ方はいつも決まっていますが…。



第二やまびこ工房で行っている自立課題の一部です。マッチング・パズル・福笑い・種類分け・絵合わせなどなど。利用者さんの能力に合わせていろいろ開発中です。50種類目指して頑張ります！

6月頃からは散歩も実施し緑豊かなコースを歩いてリフレッシュされたりもしています。林の中の緑道はとても風通しが良く涼しく感じます。おかげで7月8月と猛暑の中でも楽しむことが出来ました。最近は気候も涼しくなり、最適な環境で散歩に出かけることが出来ています。



お礼の一言

ソファや棚・パソコン・ミシンなど、たくさんのご寄附ありがとうございました。皆様のご協力により、第二やまびこ工房の日中活動において、利用者の休憩時や備品の作成などに大変活用させていただいております。今後も、笑顔あふれる工房を作っていきたいと思っておりますので、ご協力宜しくお願い致します。(八木・大塚・伊波)

食堂では、いつも栄養満点で美味しい料理を提供して下さいます。キュービックの皆さんも笑顔で迎えて下さり、利用者も安心して召し上がっています。もちろん職員もです(笑)利用者の特徴に合わせて、食事形態や提供方法も考え、協力して下さいます。

屋上では、気もちがよい風が吹く中、走ったり、日向ぼっこしたして、のんびりとした時間を過ごしています。今後はトランポリンやローラーブレードなども準備して、元気いっぱい活動して頂けたらいいなと思っています。



ヘルパー便り

～初めてのガイヘル～

先日、ヘルパー研修を兼ねたガイヘルに同行させていただく機会がありました。利用者はもちろんのこと新人ヘルパーの様子も同時に見ていきます。利用者のお宅に伺う前に待ち合わせをして、必要な手続きの確認をします。財布や手帳の管理、公共交通機関や施設の利用と割引について、報告書類の書き方など。慣れたヘルパーの皆さんは移動しながら難なくできますが、最初は一つ一つ覚えなくてはならないのでなかなか大変です。

ヘルパーは緊張されていたようですが、一方の利用者は活動が始まってからはリラックスした雰囲気です。上野アメ横の食堂でミックスフライ定食をおいしそうに食べ、国立科学博物館で展示物の説明書きを読んだりタッチパネルを操作したりして、とても楽しそうに過ごされていました。ずいぶん歩いたので、つい私が「アイスを食べよう」と提案のんびりしてしまったせいで、帰りの電車の乗り換えにあたふたする場面がありましたが、元気に活動を終了することが出来ました。

普段とは違う視点をもって同行した今回のガイヘルでしたが、あらためてその利用者の話し方や性格、行動の特徴を知っているのと知らないのとでは活動の内容に差が出ることを感じました。当たり前のことではありますが、その利用者を知れば知るほど活動も楽しくなるのだなあ、と実感した一日でした。

(鹿野)

ナウシカ便り

～「感覚」への配慮～

今年も非常に暑い夏だった。暑すぎて湿気が飛んでしまい、乾燥した空気になったのは利用者にとって過ごしやすかったのではないかと思う。その夏も終わり、今度は一気に涼しく(寒く)なってしまったが、これもまたナウシカの皆さんにとっては過ごしやすいようだ。

ナウシカには5人の方が入居されているが自閉症の方の場合、肌の感覚が敏感で衣服や場合によっては強い風も「痛い」と感じる場合があるそうだ。風が痛いほどの方はいらっしやらないのだが、衣服に関してナウシカで一番に注目されるのは襟元の「タグ」である。特に首周りは敏感な方が多いようで、やまびこ工房でもシャツの襟を大きく開けて着ている方をよく見かける。

ナウシカのAさんは、まず全ての衣服のタグを切り取ってから着るようにされている。人によってはこのタグの位置によって衣服の向きを判断される場合もあるのだがAさんにとっては首にチクチク当たる邪魔ものでしかないのだ。

私たちスタッフにとっては、タグが切り取られていることでAさんの服が判別しやすくなり、助かってもいるのである。入浴の介助、ベッドメイキング、また、ショルダーバッグをかけるお手伝いをする際など、私の感覚をもとに考えると気付けなくなってしまう。場面ごとにその利用者の感覚、好みを意識した支援を行えるように努力したいと思う。(野田)



社会福祉法人風の谷 平成26年度決算状況報告

(単位：千円)

(1) 資金収支計算書(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

区分	収入額	支出額	資金収支差額
経常活動による収支	520,434	462,005	58,429
施設整備等による収支	724,589	1,064,297	-339,708
財務活動による収支	358,380	146,502	211,878
合計	1,603,403	1,672,804	-69,401

※当期末支払資金残高 194,323

(2) 事業活動資金収支計算書(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

区 分	本年度決算	前年度決算	増 減
事業活動収支差額	61,161	55,991	212
事業活動外収支差額	-2,824	-2,300	-41
特別収支差額	0	0	0
当期活動収支差額	58,336	53,690	252
前期末繰越活動収支差額	453,514	344,824	19,177
当期末繰越活動収支差額	511,851	398,514	19,429
次期繰越活動収支差額	511,451	453,514	65,929

(3) 貸借対照表(平成27年3月31日現在)

資産の部				負債の部			
勘定科目	当年度	前年度	増減	勘定科目	当年度	前年度	増減
流動資産	401,611	332,574	69,037	流動負債	207,287	68,850	138,437
固定資産	1,044,118	620,123	423,995	固定負債	450,445	241,491	87,304
				基本金	55,912	55,912	0
				国庫補助金等特別積立金	171,133	83,829	87,304
				その他の積立金	49,500	49,100	400
				次期繰越活動収支差額	344,824	453,515	65,929
資産の部合計	1,445,729	952,697	493,032	負債及び純資産合計	1,445,729	952,697	493,032

(4) 財産目録(平成27年3月31日現在)

区 分	金 額
資産の部	1,445,729
負債の部	657,733
差引純資産合計	787,996

後援会のページ

日頃から後援会の皆様には「風の谷」をご支援いただき誠にありがとうございます。この夏は連日猛暑が続
き、その後は台風や長雨による土砂崩れそして東海・関東・東北地方などでの大規模な洪水が発生しました。
異常気象に不安が募る毎日ですが、皆様には御変わり無くお過ごしでしょうか。

この様な災害が起きた時、自分と家族の命を守るのには勿論行政の力に期待するところ大ですが、私達市民
も知恵を絞り行動することが必要ではないでしょうか。

例えば子供たちが工房に行っている最中に大きな地震があった場合または相模川が氾濫して川沿いの地域
が水没した場合等、不測の事態が起きた時に災害弱者の子供たちを守るためどの様な手が打てるのか、工房職
員の方々と私達保護者が一緒になって検討し準備をすることは無駄では無いと思います。今回の洪水のニュー
スを見ながらそんな事を感じました。

丁度この原稿を書いている時、我が家の息子が今日は疲れも見せず、工房から機嫌良く帰ってきました。彼
の機嫌が良いとこちらも何となく嬉しいものです。 風の谷後援会会長 堀田脩司

平成27年5月26日～9月10日現在（五十音順敬称略）

【新規個人】

(相模原市)

川勝英範 藤井則子

(相模原市外)

川勝友紀子（横浜市）

【更新個人】

(相模原市)

内田まゆみ 小原マサエ 川勝登美子 菊間政好 小林和子 小松克明 佐藤寿恵子 鹿野徹子

清水悟 清水紳一郎 伸和トラスト 高林清 津田英隆 永山明彦 芳賀道子 原友作 原徹

古橋須美 松原麻子 百田紀久男 森合貞雄

(相模原市外)

青山恵子 菊池孝子（横浜市） 合津紀子（上田市） 江澤恵（さいたま市） 上城功（八王子市）

萱沼幸夫（愛甲郡） 北村恵子（逗子市） 久保伸司（座間市） 佐々木継生（北九州市）

下田浄（所沢市） 下田武（世田谷区） 竹花三枝 山本昭子（町田市） 塚本寿子（福井県）

成瀬功（平塚市） 藤野孝夫（厚木市） 辺見貴江子（仙台市） 松岡ヒサ（青森県）

宮手敏雄（盛岡市） 村岡嘉紀（大和市） 村上信治（熊本市） 守屋恵美子（堺市）

【更新・団体】

(有) 伸和トラスト

他大勢のみなさまありがとうございました

風の谷後援会のご案内

風の谷後援会は、自閉症者の自立と社会参加を目指す『社会福祉法人 風の谷』を支援することを目的
にしております。主旨に御賛同頂き、皆様の温かい御支援を頂きますようお願い申し上げます。

一般会員 一口：3,000円／年間

団体会員 一口：10,000円

※一口以上、何口でも承ります。現金を添えてのお申し込みも承ります。

<お問い合わせ先>

『風の谷後援会』事務局

〒252-0244 相模原市中央区田名 7236-3 社会福祉法人「風の谷」内

TEL：042-760-1033 FAX：042-760-7115

郵便振込先 口座番号 00230-1-15345

他の金融機関からの振込先 ゆうちょ銀行 9900 店番 029 当座 0015345